

めぐみ

2024年
7・8月号

学校法人 聖公会北関東学園

認定こども園

初雁幼稚園

〒350-0057 川越市大手町 8-5

Tel 222-5385 Fax 228-5010

共感は自信と希望をもたらす大きな力に

副園長 山岡 理恵



6月に短大時代の同窓会がありました。「ラッタテ ドオミヌムの会」と名付けられた私たちの学年の同窓会は4年ごとに行われています。幹事は5、6人で持ち回り。コロナで前回は見送られたため、8年ぶりの開催でした。

私自身の参加は15年以上ぶり。当日、電車の中で友だちと合流。ほぼ埼玉から出ない日常を送っている私は学校に行くまでの道のりも浦島太郎状態。毎月母校に仕事で行っている友だちに「花屋さんはこのビルに入ったんだよ」「あの店にいたゴリラ（壁をよじ登る巨大ゴリラ）はいなくなってる」など、案内してもらいながら当時通った道を歩き、徐々に記憶が呼び覚まされていきました。

校舎の前に着くと幹事のクラスメイトが待っていて「こんにちは！お久しぶり。こちらからお入りください」と笑顔で迎えてくれました。私たちが卒業した後、短大は4年制大学となり、校舎は建て替えられ、当時学んだ建物はもうありません。それでもその時の風景を思い出し、「この辺りで体育の授業やったよね。狭いところで縄跳びしたね（笑）」と、なんでもない思いつき話にうなずきあいました。2時間余りの会でしたが、再会を喜び、懐かしい話に笑いあい、それぞれが今に向き合っている姿勢に励まされて帰ってきました。心満たされるひと時でした。

さて、今回の同窓会は案内も出欠確認も初めてLINE上で行われました。アラ還女子たちが奮闘し?!友だちが友だちを呼び、グループラインに参加者が増えていくのは嬉しいことでした。つながったLINEは個人的にも賑やかに動き、同窓会に参加できなかった友人たちと集まる予定もできました。

初雁幼稚園でもこのところ同窓会のようにLINEが賑わっている学年もあるとか。野澤名誉園長著の120年記念誌が出版されたことによるものだそうです。新聞に掲載されたこともあり、卒園生の方やその保護者の方たちからの電話や来訪も続いています。

その時の風景やその温度を共感しあえるのはその時を共に過ごした者同士。共感の力は自信と希望をもたらす大きな力であると思います。園児またその保護者として在籍するのは120年の歴史の中の数年ではありますが、その数年が少しずつ重なり合って今に続いていることを思います。初雁幼稚園がこれからも、幼児期を、子育て期を、共に過ごした園として、自信と希望をもたらす存在であり続けられますように。

今月の保育目標と予定

☆保育目標☆

7月のテーマ
「こちよく」

7月のねがい

- 夏の自然界に目を向ける
- 水、泥遊びなどを思いっきり楽しみ、気持ちよさを感じる
- 心を合わせて祈る

学年別のねがい

- (1歳) 心満たされて過ごす
- (2・満3歳) 身体を元気に動かす
- (年少組) 身体を存分に使って遊ぶ
- (年中組) 友だちとお互いに思いを出し合いながら過ごす
- (年長組) キャンプを通して、友だちや保育者との仲や信頼を深める

8月のテーマ
「平和を祈る」

8月のねがい

- 保育者や友だち、家族とゆったり過ごす
- さまざまな人や環境に出会い、いろいろな経験をする
- 平和に生かされていることを感謝し、互いに祈り合う

学年別のねがい

- (1歳) 夏の遊びを楽しむ
- (2・満3歳・年少組) 保育者や友だちと夏の遊びを存分に楽しむ
- (年中組) 自分とは違う思いに出会い触れる
- (年長組) 平和を考えともに祈りながら過ごす

7・8月の聖歌
「おおなみのように」

★予定★

日	曜	行事などの予定
1	月	
2	火	
3	水	
4	木	アルミ缶回収
5	金	全体礼拝 ↓
6	土	就労家庭保育実施日 三年次研修
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	7月誕生会(出し物担当：保育部)
11	木	幼児部短縮(半日保育)
12	金	終業式・幼児部短縮(半日保育)
13	土	就労家庭保育実施日 中堅教員研修
14	日	
15	月	海の日
16	火	幼児部夏休み
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	
22	月	すみれ組キャンプ準備会
23	火	すみれ組草津キャンプ
24	水	↓
25	木	↓
26	金	
27	土	プレイデイ 父親懇談会
8月		
3	土	保護者・教職員交流会 就労家庭保育実施日
13	火	幼児部預かり保育夏休み(~15日)
14	水	↓
15	木	↓
16	金	
17	土	
18	日	
28	水	始業式・幼児部短縮(半日保育) 職員研修③
29	木	幼児部短縮(半日保育) 8月誕生会 (出し物担当：年少担当教職員)
30	金	全体礼拝
31	土	就労家庭保育実施日

チャプレンのページ

イエス様はいつもいっしょ

いったい、この方はどなたなのだろう。

風や湖さえも従うではないか

(マルコによる福音書 第4章 41節)



イエス様がおられたユダヤの国（現在のイスラエル）北部のガリラヤ地方は、緑豊かな丘陵地帯で現在も農業が盛んです。そしてガリラヤ地方中ほどに、ガリラヤ湖という湖があります。面積が 166 km²、日本で近い面積の湖を探すと、日本で2番目に大きい茨城県の霞ヶ浦が 168 km²ですので、ほぼこれぐらいの湖ということになります。小さな魚がたくさん獲れ、イエス様の弟子となったペトロ・アンデレ・ゼベダイの子ヤコブ・ヨハネの4人はもともとガリラヤ湖の漁師だったことから、この魚をピーターフィッシュ（ペトロの魚）と呼んでいて、油で揚げたピーターフィッシュを今日でも食べることができます。

ガリラヤ湖は普段静かな湖なのですが、回り中を山に囲まれたすり鉢状の地形になっているため、山から風が吹き降りてくると一瞬のうちに嵐になってしまうことがありました。漁師だった4人の弟子たちは、このガリラヤ湖の恐ろしさについては熟知していたでしょう。

ある日、イエス様と弟子たちは、ガリラヤ湖の向こう岸へ向かって舟で出発しました。ところが途中で突然、激しい突風が起こり、舟は波をかぶって、水浸しになるほどになってしまいました。漁師だった4人の弟子たちも経験と英知をもってしても対応できない状況でした。漁師だった弟子たちはいわばガリラヤ湖のプロですので、湖の恐ろしさも誰より理解していたことでしょう。

なすすべもなく難渋しながらふとイエス様を見ると、なんとイエス様は船の艫（とも、舟のうしろ）で寝ているではありませんか。弟子たちはイエス様を起こします。「先生、わたしたちがおぼれてもかまわないのですか」（マルコによる福音書第4章 38節）。

起き上がったイエス様は、風を叱り、湖に、「黙れ。静まれ」と言われると、湖はすっかり静まり、風になりました。弟子たちは非常に驚いて、冒頭の「いったい、この方はどなたなのだろう。風や湖さえも従うではないか」と互いに言ったのでした。

弟子たちは、イエス様がいっしょにおられれば何も恐れることはないと言っていたでしょう。ところが湖で嵐に遭遇した時、イエス様がいっしょにおられることが頭から離れてしまい、湖の恐ろしさが先になってしまいました。いつも信頼し、従っていく決心をしていた弟子たちでしたが、実際はこういう状態だったのです。弟子たちはあらためて、イエス様を信じ従っていくとはどういうことなのか、非常時にこそ、自分たちの本心が問われるのだと学んだのです。

イエス様は順境の時だけ一緒にいるわけではありません。逆境の時にこそ、私たちの生き方が問われるのを、あらためて認識しておきたいものです。

(チャプレン 鈴木 伸明)

クラスまと窓の窓



つくし組

待て待てーっ！！



初雁幼稚園の近くに公民館があるのですがここはよくつくし組が散歩に行く場所です。4月当初はまだ生き物もなく子どもたちもここで何をすればいいの？という表情でしたが、クラスの友だちや保育者に慣れた今では到着してすぐに自分の好きな物を探しにバーっと走って行きます。季節も変わっていく中で虫や植物も変化し好きな花を取ってバケツに入れたり、小石集めをしたり、蝶々を追いかけたり、バッタを観察したり。その都度子どもたちはさまざまな遊びを見つけ楽しんでます。と言っても公民館には遊具がないので子どもたちも飽きちゃうかも…。そんな時はシャボン!!保育者がなんとなくシャボン玉を始めると1人2人…とシャボン玉に気付き「待て待てーっ」と追いかけてこが始まります。空高く登っていく様子をじっと見つめる子もいます。自分の顔にシャボン玉が飛んできて驚いてる子もいます。帰るころに

は顔が真っ赤で汗びっしょり。冷たい麦茶を飲んでひと休みしてから元気いっぱい歩いて(バギーに乗って)幼稚園に帰ります。

もも組

手遊び…お気に入りのポイント！

つくし組のころから歌や手遊び、朝の会で保育者が行うシアターを見るのが好きなもも組。朝の会を始める前に「今日はなあに？」とのぞいてわくわくしています。ここ最近で「チョコキ」ができるようになった子が増えて、グーチョコキパーの手遊びでもチョコキを使うカニやカタツムリができるようになりました。この間公園へ行ったときに大きなカタツムリを発見！すると自分の手でグーとチョコキを作ってカタツムリを表現しながら観察する姿にほっこりしました♪また、最近是三ツ矢サイダーの手遊びが保育者も子どもたちもお気に入り。手をクロスさせながら「あんまり冷たくしないで～」というフレーズが歌詞の中にあるので、お家でロズさんでいたらなんだかドキッとしてしまうかもしれませんが、心配しないでくださいね☆イワシのヒラキもよくやります。「ほっ！」のところがみんなのお気に入りポイントで、なぜかみんな声が高くなるところがとてもかわいらしいのです。お家でも是非リクエストしてみてください。

ちゅうりっぷ組

プール大好き！

むしむしと暑い日が続いています。「あつい…」という言葉がつつい出してしまうこのごろ。ちゅうりっぷ組の子どもたちの楽しみは水遊び&プール。まだプール開きをする前は園庭の水遊びで大はしゃぎ！タライに水をはり小さなジョーロで撒いてみたりかけあったり、職員が大

きなジョーロで雨のように水を撒くと、「きゃーー！」と逃げつつも「もう一回かけるよね？」と戻ってくるので気づけば全身びしょりです。「水かけないで」という子も、なぜだかこっそりジリジリと近くに来ています♡プール開きの日には「これ（水着）かわいいでしょ」「（タオル）恐竜！」と自慢の水着やタオルを嬉しそうに見せてくれました。腰洗い槽に浸かる時にはみんなで「1, 2, … 9, 10」と元気に数え、いざプールへ！初めは「プール入らない」と言っていた子も、プール活動中の自由遊びのころになると大声で笑いながら水しぶきをあげて楽しんでいます。梅雨に入り天気を気にしながら「明日はプール？」と楽しみにしているちゅうりっぷ組。夏季限定の遊びを思いっきり楽しもうね！

たんぽぽ組

誕生月なかま

たんぽぽ組の最近のブームは、5月の誕生会のすみれ組の出し物で観た「誕生月なかま」。みんなが輪になって集まると誰からともなく「お誕生日！誕生日！」と盛り上がります。1月生まれから順番に出てきて輪の周りをスキップしながらハイタッチしていきます。初めは「次は誰の番？」と保育者に聞いていたのですが、今では自分の順番を覚え、同じ誕生月の友だち同士声を掛け合って出てきたり、うっかり忘れてしまっている子に「〇月はAちゃんとBくんだよ」と声をかけてくれます。たんぽぽ組には2月、6月、10月はいません。そんなときは通りすがりの先生の出番です。「先生何月生まれ？」と誘い、声をかけられた先生は慌てた様子で参加してくれるのでそれも楽しみの一つ。それでもいない時は保育室に置いてある「ときもぬいぐるみ」を回して楽しんでいます。帰りの支度に時間がかかりできないときはとても残念そうですが、翌日は「誕生月仲間できなくなっちゃうよ」と声を掛け合う姿が見られます。友だちとの関わりが深まり、少しずつ仲間意識も高まってきました。たくさん笑い、時にはぶつかり合って成長して行って欲しいなと願っています。

すみれ組

草津キャンプに向けて

6月に入り少しずつ草津キャンプに向けて準備が進んでいます。キャンプファイヤーごっこでは火に見立てたライトの周りに集まり、歌ったりダンスを踊ったりしました。いつもは明るい部屋の中ですが、今日はカーテンを閉め、明かりを消して真っ暗の中ライトだけが光ります。子どもたちは「お化け屋敷だ」「くらーい」「ちょっとこわい」と口々にいいながらも、笑顔でこれから始まることに期待を膨らませています。そしてタタロチカとジェンガを踊りました。曲が進むにつれてテンポ早くなるのに最初はついていけずにはいましたが、みんなであたふたするのも楽しそうでした。また、じゃんけんで負けた人が勝った人の後ろに次々とつながっていく様子もおもしろかったりと、暗闇の中でも子どもたちの声は明るく響いていました。また別の日には松村まんじゅうを実際に食べました。草津にあるおいしいおまんじゅうの話をするとう「どうやって来たの」「おかわりできるの」と興味津々です。1人1つずつだよと渡しながらみんなで食べました。恐る恐る口に運ぶ子や2口で食べ終わる子もいましたが、最後は「おいしかった」「家族にも買いたい」と言い、草津に行ったらお土産で買おうねと話しました。草津キャンプ楽しみだね！



今月の聖書のおはなし



☆ 7月5日「家と土台」

マタイによる福音書7:24~29

「雨が降り、川があふれ、風が吹いてその家を襲っても、倒れなかった。岩を土台としていたからである。」地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を置いて家を建てた人のように、忍耐を持って取り組むことが大切ということが書いてあります。神様ご自身も、忍耐して時を見守ってくださいています。諦めず、忍耐強く取り組むことの大切さを子どもたちにお話しします。

わが家のまど



(320) わが家の次男

補助職員 山本美由季

わが家の次男、4月から中学生になりました。3月生まれということもあり体はまだ小さめなので、ブッカブカの制服で中学校生活をスタートさせました。初雁幼稚園に入園させていただいたころは今よりも、いろいろなことにこだわりが強く気持ちの切り替えに時間のかかる子でした。ごねて、教室の隅にいる息子を何度も見かけました(笑) そんな息子をいつも温かく見守ってくださった先生方には感謝しかありません。ちゅうりっぷさんで担任だった梨紗先生には特にお世話になりました!

卒園から7年。成長がゆっくりめの彼は、自分のペースでできることを増やしています。運動もあまり得意ではないけれど、兄に憧れ バレーボール部に入り頑張っています! 「初雁幼稚園を卒園した子は後半の伸びが大きい!」そう聞いています。後半って高学年からということだそうですが、きっと彼はこれからぐんぐん伸びていくんでしょう! これからどんな成長をみせてくれるか楽しみにしています。

(321) 夏の思い出

補助教諭 山本 雅美

私の実家は神奈川県横須賀市にあります。生まれてから、就職も地元の幼稚園でしたので、29歳で退職、結婚するまで実家にいました。子どものころの思い出と言えば、よく夏には海に連れて行ってもらいました。家から海まで近くはなかったのですが、バスや電車で夏中あちこち行きました。岩陰にびっしりと群れているフナムシが怖かったこと、帰り道は海水と砂で身体がベトベトでそれが嫌だった記憶があります。

それなのに自分の子どもを海に連れて行く時は、楽しかった思い出ばかり蘇ってきたのは不思議なものです。実家を拠点に、毎年色々な海水浴場に行きました。妹の家族が逗子に住んでいるので、コロナ前は逗子海岸にもよく行きました。

昨年の夏は、下の娘が友だちと日帰りで逗子海岸に遊びに行つて来ました。もう友だち同士でどこへでも行ける年齢になりました。最近では父の介護のため、私一人実家に行くことが増えました。次に行つた時は、夏の海の思い出話でもしてみようと思います。